

里だより

No.382

令和5年11月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

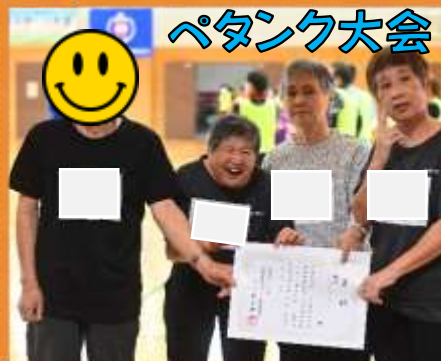
FAX 096-293-1579



3班 BBQ



花火大会



ペタンク大会



4班玉名一泊旅行

十一月号もくじ



(ページ)

施設長より……………1

サビ管より……………2

主任より……………4

職員より・事務局より・

サービス向上委員会より……………5

行事報告……………6

行事予定……………8

ありがとうございました・

編集後記……………9



施設長より

物価高騰と意思決定支援



朝晩の寒暖差が大きくなりました。夏日とは二十五℃以上の事を言うようですが、十月下旬、大津町周辺の最高気温は二十四℃が続いています。猛暑よりは過ごしやすくなったものの、衣類調整は難しく、利用者さんの衣替えも一度にとはいかず徐々に行っています。

さて、世界情勢が不安定なこともあり、価格高騰の波が押し寄せています。ウクライナ・ロシア間の争いから一年以上が経ちましたが、今度は中東のイスラエル・パレスチナ間の争いが起こり、石油を中心とした燃料の更なる高騰が懸念されます。

社会福祉法人の経営に関する情報誌にも物価高騰の文字が並びます。事業所の経営については、これまでも折に触れお伝えしてきたところです。社会福祉法人ですので経営利益を最優先してのことではありませんが、やはり運営していく上では重要なことです。収入の面は利用者数と程度区分、加算に大きく影響を受けます。定員割れを起したり、程度区分が下がったりすると、収益に直結します。定員数が一定でも支出が大きくなれば利益も減少していくのは当然のことです。政府も少子化対策に舵を切っているため、来年度に改正予定の報酬単価がどの様に変わるのかも目が離せません。そのような中、介護職、看護補助者の処遇改善案のニュースを耳にするようになったため、従業員にとっても明るい話題になればいいなと思っています。

物価高騰は利用者さんの生活にも関わってきます。一定の収入

から支払われていく金額は増えていきます。今、赤字になるような状況ではありませんが、金銭管理をしている側からすると、意思決定支援との狭間に立たされるのも事実です。あれが欲しい、これが欲しいと物欲が多い方もいらつしやいます。スタッフもなるべく安いものを厳選したりします。

このようなケースもあります。難聴で高齢の利用者Aさんは、以前は筋骨隆々でスポーツ大会でも活躍されましたが、最近足腰の衰えも顕著。自分の身体が動かないことにもどかしさを覚えられます。買い物をする際もご自分でもなるべく安いものと気にされますが、セール品を買い過ぎてしまわれる傾向になります。また、夜中のテレビショッピングで流れる健康サプリのCMでは、膝が痛そうにされている七十〜八十代の高齢者が、そのサプリをとったのち、階段をじゃんじゃん駆け上がるのを見ては、「自分もそうなるのでは」と思っで購入されます。「今だけ大幅値引き！」なんて売り文句は「買いたい！」を後押ししますが、CM中に流れる「※効果には個人差があります」は、なかなかご理解いただけません。購入して、しばらくたつて効果がないと悩まれ、次の健康サプリに目が行きがちです。現在、担当を中心に、サプリだけに頼るのではなく運動が必要であること、加齢変化により体力減少と運動の必要性をお伝えし、運動プログラムを提案して実施中です。サプリ購入を無駄と感ぜられる方もいると思いますが、これも経験だと感じています。

意思決定も尊重しながら、利用者さんのライフスタイルをお手伝いするのは仕事の一つですが、物価高騰が大きな壁にならないことを祈るばかりです。

施設長 松永一博

サビ管より

福祉体験



長かった暑い日も終わり、肌寒い気候に秋を感じます。衣類や寝具の調整、空調の管理が難しくなる時期ですので利用者の方の体調管理はもちろんのこと、自分自身の体調管理にも十分配慮していかなければと思います。皆様も体調にはくれぐれもご配慮ください。

さて、私事ではありますが、恥ずかしながら左足を骨折してしまい、一ヶ月と少しの間、松葉づえと共に生活をしてきました。車の運転はできたので出勤しましたが、利用者の介助・介護・支援ができません、何のために仕事に来てるんだらうと、もどかしい気持ちでいっぱい、自分が職場にいる意味さえも見出せない日々を送っていました。そんな中、利用者さんからは「足は大丈夫？」「そのドア閉まっとったけん開けてあげるね」「危ないけん、玄関まで一緒に行くよ」等のたくさんの方の言葉をかけていただきました。外出先では車いすを押してくれて、利用者の方の優しさに頭が下がります。職員にも迷惑をかけ、私の分の業務もフォローしてもらい、手伝ってもらいました。いやな顔一つせず受け入れてくれる職員の優しさにも頭が下がります。困った時、大変な時に手助けしてくれる人が側にいるだけで、心強く、安心します。松葉杖生活で気付いたこともたくさんあります。一步一步進めていくだけで体力を奪われ、濡れた床の上では松葉杖が滑り危うく転倒しかけました。ドアに松葉杖が引っ掛かり思うように開かないことも。職員室では、デスクから出ている椅子で通れず、片

付けながら進むこともしばしば。デスクと壁の間の通路も狭く嫌気がさすこともありました。玄関では、出しっぱなしの靴でスリッパを履くにも一苦労。トイレ、歯磨き、食事も松葉杖を使いながら何とかこなす毎日でした。そして段差。ちよつとした上り坂や下り坂でも体力が持ちません。追い打ちをかけるかのように、雨が降っても両手は松葉杖のため傘はさせず濡れ放題。外に出ること自体億劫で、休日はもっぱら自宅で過ごしました。

片足が使えず松葉杖生活でこれだけの不便さ。合理的配慮という言葉が遠い存在に感じました。それでも人の優しさは健在でした。コンビニで松葉杖をつきながらレジに並んでいると前の人から「お先にどうぞ」と声をかけられ、店の出入り口で邪魔にならうように待っていると、ほとんどのお客さんから「先にいいですよ」と気配りのある言葉をいただきました。店員さんからも「大変ですね。持ちやすいようにビニール袋に入れておきますね」との心配りも。

自分を取り巻く環境が変わるだけで、今まで見えていなかった「人」のやさしさに気づき、温かさに触れることができました。人と人とが互いに支え合うこと、人としての原点がそこにはありました。

福祉の現場で働かせてもらっている自分自身にとつて松葉杖生活は、ある意味「福祉体験」であったようにも思います。

つくしの里の利用者さんの立場、障害を持つ人の気持ち、近くにたくさんの方の支援者がいるということ。全てが貴重な体験でした。「福祉とは？」と尋ねられた時、皆さんどのように答えますか？私は胸を張ってこう答えます。

「できないところを支援する。手助けによって生活ができる（生

施設 PR 委員会 今月の 1 枚！



いきいきグループの調理実習はタコパ！
 ※タコ焼きパーティー
 中身はタコだけではありません！
 何が入っているかは食べてからのお楽しみ♪



きていける。気配りがある。そして、何より優しさがあって笑顔になれる。福祉とは人と人が助け合うことのように思います」と。
 誰もが生活しやすい環境と整理整頓。松葉杖生活を通して、自分にとってマイナスとなるところもプラスとなるところも経験できたことは価値あるものでした。この経験を通して、自分も誰かの役に立つ存在でありたいと切に思います。
 そして何より、骨折はもうこりこりです・・・。

支援係長 竹下 幸樹

たこ焼

いきいきグループ久しぶりの調理実習でした！！
 エプロン、バンダナをきちんとして
 仕上げのソースがけ☆美味しくなあれ(*^▽^*)



主任より

理想と現実

突然ですが、当法人の理念、スローガン等を再度みてみます。

法人理念 自律と自由 それぞれの自律にのっとった自由

畏敬と信頼 お互いの信頼関係に基づく畏敬の念

経営理念 私達は地域社会に開かれた、地域社会に愛される、

地域社会に信頼される施設を目指します。

サービス方針 私たちは誰からも満足いただける福祉サービス

の提供・改善、情報の伝達に努めます

スローガン めくばり きくばり おもいやり ありがとう

記念碑に刻まれた想い「親亡き後も幸せに」

虐待防止のもとに利用者さんとの3つの約束

○ 私達は皆さんが快適に過ごせる様、環境を整え一人ひとりのプライバシーを守ります。

○ 私達は皆さんの気持ちや希望を大切にし、一人ひとりに合った支援を行います。

○ 私達は皆さんと笑顔で優しく接し、分かりやすい表現で言葉を掛け合います。

年度初めや年度末、節目にみてきた言葉です。「理想だな」「できることはない」と思ったこともあります。いつの間にか自分にとって誇りであり、考える方向性になっていることを実感するようになりました。残念ながら「出来ている」という満足感はない

いのですが・・・。

利用者さんの生活や人生に関わらせて頂いています。職員一人ひとりの出来ることは僅かです。二十四時間三六五日の交替勤務で、継続して何かしらのアプローチや見守りができるのですが、法人理念やスローガンは、利用者の方が満足できているのかを考える基盤になります。特にスローガンと3つの約束は利用者の方にも分かりやすく、利用者さん達に施設や職員のあり方を評価してもらいやすいと思います。

利用者支援は複数の職員で関わらせていただきます。だからこそ統一した考えや支援が必要で、利用者の方が自律した生活が営めるようにと、支援員として試行錯誤しています。

しかし、これら方針や理念、スローガンなどの意味を理解し、共感できるけど、人の考え方や捉え方、感じ方は本当に様々で、個人の経験や生き方次第では、支援の統一は本当に難しいなと思います。最終的には利用者の方の表情や反応、状態をみて、職員がどうだったのかを教えるももらっています。

難しいと思いますが、利用者の方に正解を教えるももらうチャンスでやっていきたいと思った今日この頃でした。

主任支援員 池田 亜紀



職員より



小学生の頃から水泳が大好きで、今もスイミングスクールのプールを借りて泳ぎに行っています。以前は平泳ぎを専門に泳いでいましたが、最近は苦手なバタフライのタイムを少しでも伸ばす為にメインで泳いでいます。未だにあまり伸びないですが…。その話を先輩職員にすると「頑張れば頑張った分記録に残るよ」と、励ましの言葉をいただく事が多く、もっと頑張ろうと思います。

日々の利用者支援でも、きつい事・辛い事があっても先輩職員から「一緒に頑張ろう」と声をかけていただく事がとても嬉しく、もっと頑張ろうと思います。

入職して3年目になりますが、まだまだ迷惑かけてしまうことが多いです。先輩職員に迷惑を掛けない為にも、何事も自分で出来るよう努力していきます。そして何より、利用者の皆様が安心して生活できるよう支援していきます。 (支援員 小城)

事務局より



10月の防災訓練は消防署の方に来ていただき救急法について講義がありました。私は入職して2回目の救急法で、前回学んだことが頭に入っているのか緊張しながら参加しました。実技は胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDの使い方がありました。胸骨圧迫は、自分が思っている以上に力を使い、力を保ちつつも一定のテンポで胸骨圧迫を続けることが難しかったです。テンポがずれてしまったらどうしたらいいか消防士の方に質問すると童謡の「うさぎとかめ」を自分の中で歌いながらするとテンポが崩れにくいと教えていただきました。AEDは音声ガイドに従いながら操作をしますが、普段使用しない、人命を左右するものだと思うと練習でもパッドを貼る時やボタンを押すだけでも何とも言えない緊張感がありました。実際に救急が必要な場面があったら戸惑うと思いますが、積極的に助けに行く勇気を持ち、今回教えて頂いたことを活かしていきたいです。また機会があれば冷静な対応ができるようになるためにも救急講習を受けたいです。 (事務員 樋口)

サービス向上委員会より



■ 食事【管理栄養士 奈須・支援員 松若・井】

利用者さんに楽しく、美味しく食事をして頂きたいと思い活動しています。どきやん会や給食会議などで利用者さんの意見や食べたい物を聞いています。先月号の「調理場より」でもお伝えしましたが、今年度は「世界の料理」と題して月に1回、色々な国の料理を食べいただき、その国をイメージする音楽を流して更に異国気分を味わってもらえるようにしています(利用者さんから曲のリクエストもあります)。他にもバイキング等では会場を飾ったりポスターでお知らせしたりして、雰囲気作りにも力を入れています。

また、安全に食事を食べてもらうため、2か月に1回のST(言語聴覚士)訪問では、利用者さんの嚥下の様子を見て頂き、食事形態の確認や食べ方、スプーンや箸の使い方、姿勢などについてアドバイスをもらっています。

食べる事は大きな楽しみの一つです。これからも美味しく、楽しく、安全に食事ができるよう活動していきます。

行事報告

※ 9/21 (木) ~10/20 (金) の実施分について報告いたします

★ 生活介護③班外出【9月22日 (金) ヒゴタイ公園】

阿蘇の産山村にあるヒゴタイ公園キャンプ村へデイキャンプに行ってきました。

事前に利用者の皆さんへ何が食べたいか、何をしたいか、イラストを用いながら聞いたところ「カレーが食べたい！」とのことで、当日をとっても楽しみにされていました。

天気予報では雨が心配されましたが、現地では雨が降る事も無くちょうど良い気候でしたので一安心。ロッジに入り、皆で協力しながらカレー作りや、バーベキューの準備など穏やかな時間を過ごしました。カレーが出来上がると皆さんあっという間に食べられ、焼かれている肉や野菜を「まだかなー」と楽しそうに見られていたのが印象的です。近くに遊歩道や河川プール等あったのですが、食事に夢中になり…気づけばあっという間に帰る時間となってしまいました。今後も皆さんの希望に沿った外出が出来るよう、普段の様子や嗜好を考慮し意見を引き出しながら計画していきます。(支援員 松尾)



★ 花火大会【9月28日 (木) つくしの里】

各グループとグループホームに分かれて、夕食後に花火大会を行いました。

去年は、度重なる感染症と寒さで泣く泣く中止したため、1年越しの開催となりました。久しぶりの花火に利用者さんも感激され、勢い良く吹き出す花火に驚く方、線香花火を静かに見つめる方、思い思いに花火を楽しまれました。最後に1,200円の瘤癩玉(笑)で花火大会を締めくくり、夏を終えるには相応しい行事でした。今後も利用者さんの思い出になるイベントを企画したいと思います。(支援員 尾崎カ)



★ 生活介護④班一泊旅行【10月4日（水）～5日（木） 司ロイヤルホテル他】

玉名市へ旅行に行って参りました。今回は、丸美屋菊水工場での見学と長洲町にある金魚の館での鯉の餌やりを計画しました。工場では、実際に豆腐が作られる工程を見学した後、疑問に思う事を担当者へ質問し熱心に参加されました。又、金魚の館では鯉の餌やり体験の他、公園内を散策し売店でのお土産選びを楽しまれていた様です。

担当者として、初めての一泊旅行で不安でしたが、利用者の皆さんから「食事が美味しかった。お腹いっぱい」「また旅行いきたいな」等、嬉しい声をたくさん頂き喜びで一杯です。宴会場での盛り上げや車内での関わりなど反省点が多く、自分自身も多くの事を学ばせて頂きました。今回の教訓を活かしてより良い支援を目指していきます。（支援員 外山）



★ 熊本県施設親善スポーツ大会【10月8日（日）植木運動公園運動施設】

4年ぶりに開催されたスポーツ大会に参加しました。県内各地の施設から参加者が集まり、ペタンクとソフトバレーに分かれて競技が行われました。

つくしの里はペタンク競技に参加。9月に施設内で予選会を行い、Aチーム・Bチームの合計8名が代表として出場しました。大会に向け練習に励んでいた利用者さん。久しぶりの大会という事もあり、緊張したのではないかと思います。当日は練習の成果が出せなかった方や持っている力以上のものを発揮出来た方、様々でした。真剣な表情でボールを投げ、点数が決まると本気で喜ばれる姿等、普段とは違う利用者さんの様子や姿がとても新鮮に映りました。結果、Aチームは2戦2敗。Bチームは3戦3勝の好成績。Bチームは、グループでの優勝となりました。大会後は「来年頑張る」という言葉が聞かれ、早速、来年度に向け意気込んでいます。スポーツを通し利用者さん同士の交流も生まれ、良い機会になりました。（主任支援員 小嶋）



★ 大津町福祉まつり【10月15日（日）大津町役場周辺】

久しぶりの開催となった福祉まつり。利用者さんの参加が出来なかったのは残念でしたが、例年通り、つくしの里名物の焼きそばを販売しました。大好評で12時過ぎには360食程が完売しました。買ってくださった方ありがとうございました。実は、つくしの里の焼きそばには秘伝のレシピがあります。調理を担当するのは今回が初めてだったのですが、レシピをレクチャーして頂き、おいしく作る事ができました。焼き方や蒸らす時間等、事細かく決まっており、だからつくしの里の焼きそばは美味しいんだ！と納得させられました。

近年は、コロナ禍で地域の方々や他の施設の方との交流が途絶えていましたが、顔を合わせた交流が出来てとても良かったです。つくしの里を知ってもらえる良い機会にもなったと思います。来年度は利用者さんも一緒に参加して皆で楽しく交流出来たらなと思います。

（主任支援員 平田）



行事予定

☆ 面談・通帳確認（つくしの里）

期 日：11月1日（水）～30日（木）

内 容：日程は担当職員より電話でご連絡いたします。



☆ くまもと障がい者芸術展（熊本県立美術館本館）

期 日：11月7日（火）～12日（日）

内 容：17名の利用者さんが作品を出展されます。力作ぞろいです。



☆ インフルエンザ予防接種（つくしの里）

期 日：11月16日（木）

内 容：インフルエンザの流行が懸念されますので予防に努めます。



☆ やさしさいっぱいコンサート（大津町生涯学習センター文化ホール）

期 日：11月25日（土）

内 容：保護者会様主催のコンサートです。今年も楽しみです♪



ありがとうございました

今月の掲載分は、
令和五年九月二十一日

令和五年十月二十日です



【寄付・寄贈】

- ・井本チカ子様
- ・高宗良子様
- ・古庄政敏様
- ・坂口文雄様
- ・つくしの里保護者会様
- ・司ロイヤルホテル様
- ・丸美屋菊水工場様
- ・下田くに子様
- ・竹山眞事様
- ・光永順子様
- ・山田淑美様
- ・カモメ様

【ボランティア】

- ・村里和洋様
- ・佐藤典子様



誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載・確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら、何卒ご容赦していただきたく存じます。

編集後記

急に朝・夕が冷えるようになりました。阿蘇からは初霜の便りも聞かれ、冬の足音が近づいています。

さて、今回の里だよりでは「行事報告」が久しぶりに賑やかで、秋のイベントが充実していたことを改めて実感しました。他にも、担当職員との個別外出で、買い物や外食に出掛けた利用者さんもいらっしゃいました。今後もインフルエンザ等の感染症に気を付けながら、行事を楽しみたいと思います。

